

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I 公益目的事業の実施

1 教職員に関する研修等の実施

(1) 教員等研修会の開催

年間研修テーマ 一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる 質の高い幼児教育を
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

ア 新任教員研修会（新任教員対象）

- 第1回 6年 4月 2日
- 第2回 6年 6月 1日
- 第3回 6年 6月27日：オンライン
- 第4回 6年 7月23日・24日
- 第5回 6年 8月 7日
- 第6回 6年 8月31日
- 第7回 6年10月16日：オンライン
- 第8回 6年12月25日・26日

イ キャリアアップ研修（中堅・主任）

- 第1回 6年 4月 2日
- 第2回 6年 6月19日：オンライン
- 第3回 6年 6月26日：オンライン
- 第4回 6年 8月 2日
- 第5回 6年 8月 7日
- 第6回 6年 9月 4日：オンライン
- 第7回 6年 9月18日：オンライン
- 第8回 6年10月18日：オンライン
- 第9回 6年10月29日：オンライン
- 第10回 6年12月25日
- 第11回 6年12月26日

ウ 特別研修

- 第1回 6年 6月 2日：オンライン
- 第2回 6年 8月21日：オンライン
- 第3回 6年11月15日：オンライン

エ 教員研修大会

6年 8月23日 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）

2 私立幼稚園・認定こども園の教育振興に資する調査研究事業の実施

(1) 経営実態の調査分析

- ① 福島県私立幼稚園等実態調査（令和6年8月）
- ② 幼児教育に関する各市町村の実態調査（令和7年1月）

(2) 福島県私立幼稚園・認定こども園白書の発行（令和7年3月）

発行部数 400部（県内各市町村、県内私立幼稚園等、関係団体等に配付）
白書概要 連合会の活動状況、各市町村の振興対策事例と現状、
福島県私立幼稚園等の財務状況、子ども・子育て支援新制度についてなど

3 私立幼稚園等教育振興事業助成事業の実施

(1) 教育振興事業助成（教職員人件費、教育研究経費、管理経費、預かり保育、子育て支援活動等についての助成）※令和4年度から子育て支援推進事業等と一本化された。

助成先：非学校法人立幼稚園のため該当なし

4 私立幼稚園等復興対策支援等事業の実施

(1) 復興対策支援（園児の教育環境確保等に向けた支援の実施）

①大型絵本寄贈事業：休止

②復興支援啓発事業：休止

③こども体験活動支援事業（園外活動等の実施に対する経費についての支援）：休止

(2) 災害対策基金事業（災害発生時の支援を目的に義援金等を財源に災害対策基金を設置）

令和6年度 災害対策基金積立額（159千円）

令和6年9月能登半島豪雨災害お見舞金：県外（100千円）、令和7年1月豪雪災害お見舞金：県内（70千円）を支出

5 各委員会及び特別部会の開催状況

(1) 総務広報委員会

ア 組織

委員長 齋藤 悟

担当正副理事長 細谷 實

委員 ○新妻英昭・辻 正弥・宮澤公大・掛田昌克・渡部利智子・
吉田 元・吉田 富・中澤翔平
（○は副委員長 以下同じ）

イ 委員会の開催

【第1回】令和7年 1月22日（郡山市・郡山ビューホテルアネックス）

（1）令和6年度事業計画の確認について

（2）令和7年度事業計画について

（3）その他

【第2回】令和7年 2月 5日（オンライン）

（1）令和6年度アンケートについて

（2）その他

ウ 主な事業

(1) 就職セミナー

6年 5月11日 郡山女子大学短期大学部 70名参加（対面）

6年10月10日 いわき短期大学 100名参加（対面）

6年10月29日 桜の聖母短期大学 35名参加（対面）

6年11月20日 福島大学 20名参加（対面）

6年11月29日 福島学院大学短期大学部 73名参加（対面）

7年 1月24日 福島学院大学 43名参加（対面）

(2) 7年 1月 加盟園の実態調査アンケートの実施

(3) 7年 3月 私立幼稚園・認定こども園白書 発行

エ 事業内容及び評価

少子化のスピードが想定してる以上に早く園児減少・教員不足とどの園も今後の状況が見えない。令和6年度までの事業の評価については、主に就職セミナーを各方部で実施しているが、どの養成校も定員割れを起こしており、学生数が少なくなっている中でのセミナーとなっている。採用も大変困難な園も多くみられる。学生や保護者に私立幼稚園・認定こども園の在り方や教育・保育の質についてInstagram「MIRAI ENJIN」を通して広報活動をしているが、当連合会の活動について、会員の皆様に改め知っていただくこと必要である。

(2) 振興政策委員会

ア 組織

委員長 星 行 夫

担当正副理事長 志 賀 達 生

委員 ○塩谷 元・佐々木篤行・阿部 光 浩・山口 仁・杉原 完・
上 嶋 啓 子・中 野 育 正・白 土 智 貴・小名川祐輝・荒 崇 志

イ 委員会の開催

【第1回】令和6年 5月27日（経営研究委員会・こども園委員会と合同開催：福島市・福島テルサ）

- (1) 令和6年度事業計画の確認について
- (2) 「未来への幸福ナビPROJECT」について
- (3) その他

【第2回】令和6年12月17日（オンライン）

- (1) 各市町村の実態調査について
- (2) 次年度の事業計画について
- (3) その他

ウ 主な事業

- (1) 6年 7月24日：自民党福島県連との懇談会資料作成（幼児教育振興連盟）
- (2) 6年 9月 9日：福島県議会各種団体要望聴取会 要望内容作成
- (3) 6年11月19日：福島県私学振興大会要望事項の作成
- (4) 6年12月 9日：令和7年度政府予算対策要望活動 要望内容作成
- (5) 7年 1月 : 県内市町村 幼児教育に関する調査の実施

エ 事業内容及び評価

本年度、当委員会は厳しい経営環境に置かれている私立幼稚園（主に私学助成園）に対する財政補助を何とか獲得すべく、要望書作成して国及び県の担当部署に働きかけた。要望の主なものは運営費（一般補助）の増額や国が示している幼稚園の無償化保育料（25,700円）の増額もしくはそれに代わる県としての補助金の創設である。運営費の増額は多少あったものの、期待するほどではなかった。また、県補助金の創設も未達である。例年、県内市町村へ依頼していた実態調査については、各市町村の保護者や施設に対する助成状況の調査を中心に実施した。市町村毎の助成の詳細が明らかになることを期待している。

今回、当委員会では要望書作成に活用する客観的データ（エビデンス）を取得するためのアンケート調査の実施ができなかった。次年度は、私立幼稚園（私学助成園）の経営状況について詳細に調査し、その結果を国や県に示して厳しい経営状況を理解してもらい、補助金等の増額及び創設につなげたい。

(3) 教育研究・研修委員会

ア 組織

委員長 賀 門 康 博

担当正副理事長 楠 正 興

委員 関 章 信・○舟山千賀子・○佐藤智彦・坂本 万 純・川 名 秀 典・
村松 恵 美・大庭 一 晃・富 永 実 雪・金 澤 右 子・阿 部 直 美・
長谷川翔平・坪 有 加・齋 藤 紀 子・山 地 勝・鎌 田 文 代

イ 委員会の開催

【第1回】令和6年 5月10日（オンライン）

- (1) 令和6年度事業計画及び担当割りの確認について
- (2) 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）の担当及び役割について
- (3) その他

【第2回】令和6年 6月21日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 7・8月の研修会内容と進行に関しての確認
- (2) 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）の担当と進行方法等について
- (3) 方部研修のキャリアアップ化について
- (4) 教育研究・研修委員会実施アンケートについて
- (5) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構オンデマンド研修について
- (6) その他

【第3回】令和6年 8月22日（いわき市・東日本国際大学）

- (1) 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）の役割等について
- (2) その他

【第4回】令和6年11月 1日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 12月までの研修について
- (2) 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）の振り返り
- (3) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）について
- (4) その他

【第5回】令和7年 1月30日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 令和6年度研修会総括について
- (2) 令和7年度の研修会計画について
- (3) 令和6年度保育実践充実推進のための中央セミナー及び幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）／全日本私立幼稚園幼児教育研究機構全国教育研究担当者会議・研修内容の伝達
- (4) 第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）について
- (5) その他

ウ 主な事業

- (1) 各種研修会の実施（参照：※令和6年度教員等研修会実施内容）
- (2) 6年 8月30日 全日私幼連東北地区教育研究担当者連絡会議協議会
- (3) 7年 1月20日 全国教育研究担当者会議（東京）
- (4) 7年 2月18日 福島県幼稚園等新規採用教員研修運営協議会（福島市）

エ 事業内容及び評価

(1) 研修運営全般について

研修運営全般において、コロナ禍が終わり通常の研修体制に戻しつつも、時代と共に変化する各園の状況に対応する必要性が増しています。超少子化に伴う園児数の減少と、保育者不足から来る職員不足といういわゆるダブルパンチにより、研修を受ける機会そのものを減らさざるを得ない状況も感じられます。そうした中で連合会加盟園においては、子ども達、そして保護者により良質な保育を提供してもらいたい思いを込め、研修を計画しました。

具体的には主に中堅・主任研修及び特別研修ではリモート(オンライン)形式での研修を主とし、一部の対面研修の必要がある実技的内容のものを対面形式としました。新任研修については、対面という形で得られる対人スキルの向上も目的の一つであるので、出来る限り対面形式を多くしました。

処遇改善Ⅱに係る研修(キャリアアップ研修)においては新制度への移行が一段落し、受講人数の需要も落ち着くと考えられたので回数を減らし、委員の負担を軽減している。また、継続的な学びに繋がるように2～3回の講義を一人の講師に依頼する試みも行い、一定の成果を得たと考えられます。

新任宿泊研修会は経費と参加負担を考慮し今年も行わず、その宿泊研修3日分を6月と7月に振り分け、新任者研修の45時間を確保することができました。

(2) 教員研修大会について

今回は諸般の都合により、当初の予定を変更しいわき方部での開催となった県大会でありました。短い準備期間ではありましたが、方部の先生方のご尽力のおかげで、無事に全日程(全体会(記念講演)、5分科会、1つの経営分野研修)を対面方式で行うことが出来ました。そして分科会においては昨年度に引き続きポスター発表を行う事が出来ました。結果として550名を超える参加があり、非常に有意義な学びの機会にすることが出来たと考えます。実施に関して運営に係る様々な困難を解決しながら実施に漕ぎ着けた実行委員および教職員の方々のご尽力に感謝いたします。

人と人が実際に対面し、語りあうことの重要性を感じることが出来た大会になったと考えます。

(3) その他

1. 先の在園児数の減少と保育者不足という要因もあり、全体的な参加人数が減少傾向となっています。やむを得ない点もありますが、リモート研修による参加する敷居を低くすることや、魅力的な研修内容を模索することで、結果的に参加者数が増えるように計画していきたいと考えます。

2. 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構から提示された「研修俯瞰図」現状としてはキャリアアップ研修に関する認識の方が高いものと考えられる。同時に示された「保育者として身に付けたい資質・能力の道しるべ」と共に、保育者としてのキャリアアップとはどういう意味合いを持つのかという視点をより俯瞰的に認識できるように、研修の折に伝えていく必要があると考えます。

3. 同じく機構の取り組みとしてECEQ®(公開保育を活用した幼児教育の質向上システム)があります。コーディネーターが園と公開保育参加者の間に入ることで、より柔軟性のある、園の質の向上に繋げていくためのシステムであり、実施園からは非常に高い評価を得ておりますが、まだ認知度が高いとは言えない状況です。特に園長・主任及び他の委員会における設置者向け研修の中で説明の機会を作り、より意義のある公開保育がより活発に行える環境になるよう、本委員会としても取り組んでいきたいと思ひます。

4. 今年度から取り組み始めた各地区研修との連携(キャリアアップ対象研修化)も徐々に広がってきています。今後も各地域の課題等を尊重しつつ、より質の向上に寄与できる在り方を模索していきたいと思ひます。

(4) 経営研究委員会

ア 組織

委員長	安齊悦子
担当正副理事長	楠正興
委員	○遠藤弘道・板垣 恵・今泉壮規・山野辺澄子・橋本希義・ 船生長久・永井一也

イ 委員会の開催

【第1回】令和6年 5月27日(振興政策委員会・こども園委員会と合同開催：福島市・福島テルサ)

- (1) 令和6年度事業計画の確認について
- (2) 「未来への幸福ナビPROJECT」について
- (3) その他

ウ 主な事業

- (1) 6年 8月22日 若手後継者研修会（いわき市・ホテルグランパークパネックス）
- (2) 6年 8月23日 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）第6分科会担当

エ 事業内容及び評価

令和6年5月27日に第1回委員会を、振興政策委員会・こども園委員会と合同で開催し、事業計画の確認、「未来への幸福ナビPROJECT」調査他について検討いたしました。当初の計画通りに実施することができませんでしたが、従来、経営研究委員会で開催していた学校運営管理研修会は県の私学・法人課において、5月29日にオンラインにて開催され、①令和5年度私立学校法改正に伴う学校法人寄附行為変更について、②幼稚園（認定こども園）に関する補助金についての説明をいただきました。寄附行為変更については、私学・法人課の丁寧な指導によりスムーズに資料作成が進められたことと思います。

重点事業の一つである、超少子化対応の園経営セミナーは、第一回若手後継者勉強会として、令和6年8月22日（木）に九品寺こども園・グランパークホテルパネックスにおいて開催いたしました。九品寺こども園理事長・園長遠藤弘道先生の案内で園内の見学、その後、お話を伺いました。先生は先代からの事業を継承されましたが、家族経営からの脱却を図り、経営理念の再構築をされ、さらに、園の多機能化に取り組まれたこと等を拝聴し、園児減の中での先見の明と英断による、健全な園経営の在り方等を学ばせていただきました。その後、「連合会の未来」について当連合会理事長細谷實先生のお話を大所高所から伺うことができ、次回に繋がる研修となりました。また、「つながりづくり」の方法としてInstagram「MIRAI ENJIN」の活用等について、未来への幸福ナビPROJECT 特別部会長宮澤公大先生から、現在の幼稚園の状況を鑑みて、保護者へのメッセージを出す必要がある。それにはSNSがいいのではないか？というところから、「MIRAI ENJIN」というインスタアカウントを開設した。インスタのフォロワー数を増やしていくことが必要なので、協力をお願いしたい。また、新聞広告やTVCMを始めていく予定等のお話をいただきました。参加者より、「私学助成園から、こども園にかわると何が大変ですか？」等の質問や追加の話題提供などがあり、次に繋がる研修会になりました。

令和6年8月23日（金）開催の第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）において、設置者・園長向け分科会を担当いたしました。講師に税理士法人ゆびすい東日本事業部部長田尻文彦氏をお招きし、「学校会計から見る今後の展望 私学助成・新制度」のテーマでお話をいただきました。人口の変動、社会的ニーズ等、様々な要因が園経営に影響を及ぼしていますが、私学助成園・新制度移行園の今後の経営のあり方等についてのお話を伺いました。詳しい内容については、大会収録または白書を御覧ください。

経営研究委員会として各園に依頼をしている、全日本私立幼稚園連合会実施の実態調査では、令和6年度は46園の報告がありました。設問の工夫は必要かと思われそうですが、初任給などの待遇改善・採用等の参考になると思われしますので、ご協力をお願いいたします。

令和6年度は私学助成園から新制度園に移行する園数の増加に伴い、それらの制度の違いや事務的な処理等に関連した研修になりました。取り残した事業もありますが、次年度以降の事業として、「こどもがまんなか」の持続可能な園経営のために各委員会との連携を図り、新たな視点をあてた研究・研修を今後ともすすめて参りたいと思います。

(5) こども園委員会

ア 組織

委員長 海老原 嗣

担当正副理事長 平 栗 光 弘

委 員 ○諏訪信行・木村恵美子・和田 正 明・根 本 克 行・安 川 徹

イ 委員会の開催

【第1回】令和6年 5月27日（振興政策委員会・こども園委員会と合同開催：福島市・福島テルサ）

- （1）令和6年度事業計画の確認について
- （2）「未来への幸福ナビPROJECT」について
- （3）その他

ウ 主な事業

エ 事業内容及び評価

令和6年度は、各園と情報交換を行い超少子化に向けた現状の課題の整理を行い、福島県内でも園児数の減少や自治体毎の対応の差などの課題があることが分かった。

また、私立幼稚園・認定こども園白書に現状の報告を記載させていただいたが、これからの超少子化社会に向け、定員規模や特色など、未来を見据え持続可能な園の形を考えていくことが必要だと感じた。

本来であれば、福島県内の各自治体の現状の確認と共有、国の制度の理解促進の取組みなどを実施できれば良かったが、各自治体の対応も国の制度の激しい変化に合わせ常に変わり続けている部分や、こども園委員長が自治体の大きな方向転換に追われ、委員活動を行う事が出来なかった。

(6) 「未来への幸福ナビPROJECT」特別部会

ア 組 織

部 会 長 宮澤公大

部 会 員 ○齋藤秀人、○掛田昌克、橋 本 悠 太、細 谷 實、齋 藤 悟、
海老原 嗣、安 齊 悦 子、賀 門 康 博、長谷川翔平、星 行 夫、
中 野 育 正、遠 藤 弘 道、佐 藤 智 彦、荒 崇 志、

イ 部会の開催

【第1回】令和6年 5月 1日（福島市・幼児教育振興財団会館）

- （1）「未来への幸福ナビPROJECT」の内容について
- （2）「未来への幸福ナビPROJECT」の予算について
- （3）その他

【第2回】令和6年11月 7日（郡山市・郡山ビューホテル）

- （1）現在までの取り組み報告
- （2）SNS運用のためのチーム作り
- （3）連合会ホームページとの連携
- （4）園長、設置者＋各園先生に向けた業務LINEについて

ウ 主な事業

- （1）7年 1月28日 SNS研修会（オンライン）

エ 事業内容及び評価

- （1）令和6年7月からInstagram『MIRAI ENJIN』の運用を開始することができました。毎週月金のペースで投稿をUPしてきました。リール動画による園の先生、保護者へのインタビューも12本UPすることができました。初年度の運用としては、まずまずというところです。
- （2）テレビ、新聞の広告については、令和6年8月末からのスタートとなりました。

内容、時期については精査が必要という反省があります。

- (3) 連合会 WEB の保護者向け特別寄稿 保護者さんに向けてのコラム連載を開始しました。
- (4) 広告 ⇒ インスタ ⇒ 連合会 WEB ページ で情報発信の流れを作り、保護者の潜在的ニーズの掘り起こし と 加盟園価値の差別化 の第一歩は整いました。

Ⅱ 労働保険事務組合事業

事業内容：労働保険事務組合として当法人加盟の園から委託を受け行っている労働保険事務
令和6年度受託園：1園

Ⅲ 法人事業関係

1 総会の開催

定時社員総会

- 日 時 令和6年 6月11日 14:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 114名（委任状提出会員76名含む。）
議 題
- (1) 令和5年度事業報告について
 - (2) 令和5年度決算の承認について（議案第1号）
監査報告
 - (3) 会費の改定について（議案第2号）
 - (4) 令和6年度予算の補正について（議案第3号）

社員総会

- 日 時 令和7年 3月27日 13:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 106名（委任状提出会員92名含む。）
議 題
- (1) 定款変更（案）の承認について（議案第1号）
 - (2) 令和7年度事業計画（案）の承認について（議案第2号）
 - (3) 令和7年度予算（案）、資金調達及び設備投資の見込みの承認について（議案第3号）

2 理事会の開催

第1回

- 日 時 令和6年 5月17日
場 所 （一財）福島県幼児教育振興財団会館
出席理事 17名 出席監事 1名
〔決議事項〕

- (1) 教育功労表彰受賞候補者（案）について（議案第1号）
- (2) 令和5年度事業報告の承認について（議案第2号）
- (3) 令和5年度決算の承認について（議案第3号）
監査報告
- (4) 会費の改定について（議案第4号）
- (5) 令和6年度予算の補正について（議案第5号）

(6) 定時社員総会招集及び提出議案等について（議案第6号）

(7) 新会員の入会承認について（議案第7号）

第2回

日 時 令和6年 7月19日

場 所 （書面開催）

出席理事 23名 出席監事 3名

〔決議事項〕

(1) 令和6年度永年勤続表彰（案）について（議案第1号）

(2) 令和6年度福島県私立幼稚園・認定こども園教育研究奨励賞（案）について
（議案第2号）

第3回

日 時 令和6年11月 7日 15:00～

場 所 郡山ビューホテル

出席理事 13名 出席監事 1名

〔報告事項〕

(1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

(1) 令和7年度第13回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（会津大会）につ
いて（議案第1号）

(2) 令和7・8年度役員改選について（議案第2号）

(3) 令和7・8年度各委員会の構成及び委員の推薦について（議案第3号）

第4回

日 時 令和7年 3月 9日 14:30～

場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）

出席理事 19名 出席監事 1名

議 題

〔報告事項〕

(1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

(1) 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会定款の変更（案）について
（議案第1号）

(2) 教員研修大会のローテーションと運営（案）について（議案第2号）

(3) 令和7年度事業計画（案）について（議案第3号）

(4) 令和7年度予算（案）について（議案第4号）

(5) 社員総会招集及び提出議案について（議案第5号）

(6) 新会員について（議案第6号）

3 正副理事長会議の開催

第1回（ 4月16日）「未来への幸福ナビPROJECT」について ほか

第2回（ 5月 7日）会費改定について ほか

第3回（ 7月 9日）「保護者アンケート」について ほか

第4回（10月30日）第3回理事会について ほか

第5回（12月20日）令和7・8年度役員改選について ほか

※ 令和6年度 教員研修会等実施内容

年間研修テーマ 一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる 質の高い幼児教育を
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

研修会名		開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
新任教員研修会	第1回	令和6年 4月 2日 ホテル福島 グリーンパレス	48名	研修① “保育者、社会人としての役割 について” 研修② 社会人、保育者としてのマナ ーについて	郡山女子大学附属幼稚園 園長、（公社）福島県私立 幼稚園・認定こども園連合 会教育研究・研修委員長 賀門康博 桜の聖母短期大学 非常勤講師 今泉理絵
	第2回	令和6年 6月 1日 エルティ	41名	研修① 安全管理～園内に潜む危険に について考える 研修② 保育実践～絵本の楽しさを伝 えよう～	郡山女子大学附属幼稚園 園長、（公社）福島県私立 幼稚園・認定こども園連合 会教育研究・研修委員長 賀門康博 学校法人真宗大谷学園 九 州大谷短期大学幼児教育科 准教授 吉柳佳代子
	第3回	令和6年 6月27日 オンライン【ZOOM】	39名	研修① 保育現場における小児の感染 症や応急手当に関する基礎知 識について	帝京大学大学院 公衆衛生学 研究科 教授 高橋謙造
	第4回	令和6年 7月23日 24日 エルティ	42名	研修① 新任保育者としての保護者対 応について考える 研修② 保育の振り返りと同僚性～1 学期の保育の振り返り～ 研修③ 保育現場における環境構成に ついて考える 研修④ 保育実践～幼児体育から学ぶ 子どもの発達～	新島学園短期大学 鈴木まゆみ いわき短期大学 講師 酒井啓亮 いわき短期大学 講師 酒井啓亮 ピース体操教室 小林祐貴
	第5回	令和6年 8月 7日 ホテル福島 グリーンパレス	37名	研修① 0～2歳児の育ちについて 研修② 子どもの思いに寄り添い、あ そびがもっと面白くなる記録 の在り方	（社福）久良岐母子福祉会 くらき永田保育園 鈴木八郎 認定こども園宮前幼稚園・ 宮前おひさまこども園 副 園長・鎌倉女子大学・洗足 こども短期大学 非常勤講師 亀ヶ谷元譲

	第6回	令和6年 8月31日 ホテル福島 グリーンパレス	32名	研修① 保育施設における食育活動について考える 研修② 特別支援教育～様々な障害の基礎知識について考える～	仙台青葉短期大学 教授 小野瀬剛志 臨床発達心理士 阿邊 智
	第7回	令和6年10月16日 オンライン【ZOOM】	38名	保育現場における不適切な保育を考える	郡山女子大学短期大学部 講師 佐々木郁子
	第8回	令和6年12月25日 26日 ホテル福島 グリーンパレス	36名	研修① 子ども理解について 研修② 自園の教育・保育の理解と自身の保育について考える 研修③ 指導要録の書き方について考える 研修④ 保育実践～絵画表現～	いわき短期大学 講師 酒井啓亮 茨城キリスト教大学 教授 飛田 隆 東京成徳短期大学 教授 大澤洋美 尚絅学院大学 教授 相馬 亮

研修会名		開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
キャリアアップ研修（中堅・主任）	第1回	令和6年 4月 2日 ホテル福島 グリーンパレス	46名	研修①② 乳児保育～発達に応じた適切ななかかわりについて～	福島学院大学短期大学部 保育学科 実習指導室長 准教授 鈴木智子
	第2回	令和6年 6月19日 オンライン【ZOOM】	82名	今求められている子育て支援～子ども、保護者、職員との豊かな関係づくり～	一般社団法人 家族・保育デザイン研究所 所長 汐見和恵
	第3回	令和6年 6月26日 オンライン【ZOOM】	73名	幼児期の遊びこそ学びの原点～子どもの姿から幼児期に必要な体験を考える～	上越教育大学大学院 学校教育研究科 発達支援教育実践研究コース 教授 山口美和
	第4回	令和6年 8月 2日 ホテル福島 グリーンパレス	73名	研修① 幼児期におけるESDとしての食育について 研修② 障がい児保育について	仙台青葉短期大学 教授 小野瀬剛志 東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科 教授 平野幹雄
	第5回	令和6年 8月 7日 ホテル福島 グリーンパレス	84名	研修① 仲間とともに保育を豊かに～さまざまな記録の可能性～ 研修② 保育者としての気づきについて	認定こども園宮前幼稚園・宮前おひさまこども園 副園長・鎌倉女子大学・洗足こども短期大学 非常勤講師 亀ヶ谷元譲 (社福)久良岐母子福祉会 くらき永田保育園 鈴木八郎

	第6回	令和6年 9月 4日 オンライン【ZOOM】	45名	幼児期の自然体験の大切さ～子どもと一緒に自然を感じる方法を考えよう～	上越教育大学大学院 学校教育研究科 発達支援教育実践研究コース 教授 山口美和
	第7回	令和6年 9月18日 オンライン【ZOOM】	55名	保護者と信頼関係を築くために保育者のできること	大阪教育大学教育学部 教授 小崎泰弘
	第8回	令和6年10月18日 オンライン【ZOOM】	34名	現代社会における子どもの育ち	郡山女子大学短期大学部 教授 永瀬悦子
	第9回	令和6年10月29日 オンライン【ZOOM】	39名	今考えたい「不適な切保育」について	福島市こども未来部 主幹 信太由紀子
	第10回	令和6年12月25日 ホテル福島 グリーンパレス	44名	保育現場における諸課題について 嘔吐処理方法と手洗い実践	医療法人社団鉄医会 附属研究所 所長 高橋謙造 ゆしまや保育園 看護師 佐久間裕子
	第11回	令和6年12月26日 ホテル福島 グリーンパレス	41名	研修① 音楽表現を通して子どもの心を育む 研修② 10の姿を手がかりに子どもの育ちと学びを考える～園での遊びを中心に～	元郡山女子大学短期大学部 教授 三瓶令子 上越教育大学大学院 学校教育研究科 発達支援教育実践研究コース 教授 山口美和

研修会名		開催日・場所	参加人数	内容	講師名
特別研修	第1回	令和6年 6月 2日 オンライン【ZOOM】	69名	「子ども“が”ケアする世界」を考える～記録から具体的に～	玉川大学 教育学部乳 幼児発達学科 教授 岩田恵子
	第2回	令和6年 8月21日 オンライン【ZOOM】	19名	健やかな成長のために～幼児期から摂りたい不足している栄養	郡山女子大学 家政学部食物栄養学科 教授 岡部聡子
	第3回	令和6年11月15日 オンライン【ZOOM】	38名	自閉症スペクトラム児の心の育ち	相模女子大学 教授 宇田川久美子

研修会名	開催日・場所	参加人数	内容	
第12回教員研修大会(いわき大会)	令和6年 8月23日 いわき芸術文化交流館アリオス ほか	600名	①愛されて育つ子ども ②子どもや同僚と共に育つ保育者【新任教員向け】 ③子ども理解～「子ども理解」と「保育のつながり」を考える～ ④保育の理論と計画・実践、評価・改善 「ポスター発表」 ⑤子どもが育つ家庭や地域 ⑥【設置者園長研修会】 学校会計から見る今後の展望 私学助成・新制度 【記念講演】 「THE IWAKI WAY － マネジメント －」	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 岩田恵子 東京教育専門学校非常勤講師、元横浜隼人幼稚園園長 水越美果 前帝京短期大学こども教育学科教授 高橋かほる 武蔵野大学 教育学部 幼児教育学科 教授 箕輪潤子 桜の聖母短期大学 福祉こども専攻 こども保育コース 教授 狩野奈緒子 税理士法人ゆびすい 東日本事業部 部長 田尻文彦 いわきF C 代表取締役 大倉 智